

第82回日比谷メーデー開催



日比谷メーデー会場

働く者の団結で生活と権利

平和と民主主義を守る

さくら新聞

発行委員	責任部長
執行集宣	責任部
教育	伝
東京労働	清組
北支	掃合部

2011年6月20日
第5号

5月1日、第82回日比谷メーデーが開催され、北支部は20名の仲間と共に参加してきました。

メーデーは、全世界の労働者が生活と権利をかけて闘ってきた働く者の祭典で、

3月11日午後、東北関東沖を震源とする史上最大級の大地震と大津波が発生し、太平洋沿岸を中心に多くの人命が失われ壊滅的な被害を受けました。また、東京電力福島原発で、大量の放射能放出・悲惨を起こすとい



第二地連宣伝カー

う、恐れていた重大事故が起きました。原子力優先のエネルギー政策の誤りと、原発が露わになりました。

日本経済は大企業を中心に、リーマンショックを乗り越え業績はV字回復を達成しながらも、リストラと労働者の非正規化による総人件費抑制と下請け企業へのコスト削減を徹底し、利益の内部留保を

メーデー 特集号

続けることにより、国内需要は回復せず深刻なデフレ状況が続いている。こうした中で、震災を口実とした首切り・賃下げ・リストラなどの攻撃を許すことはできません。

働く者が安心して生活ができる公平・公正

闘う労働者が

結集し団結強化

5月1日、第82回日比谷メーデーに参加してきました。3月に発生した大震災の影響でどうなるかと思いましたが、天候にも恵まれ無事に開催されました。集会最初に震災で犠牲になられた方々に対しての黙祷から始まりました。来賓者の挨拶が続く震災に関わる様々な問題が取り上げられました。労働者を取り巻く状況が年々厳しくなる中、闘いを強化していく決意をし、「団結ガンバロー」で集会が終わりました。

また、デモ行進では、東電本社前でシュプレヒ

な社会を求め、あらゆる差別を許さず生活と権利・平和と民主主義を掲げ、すべての労働者の幅広い結集と団結と闘いが求められていることを確認し、引き続きデモ行進を行い、第82回メーデーは終了しました。



デモ行進する北支部の仲間

コールを特に力強く行い終点鍛冶橋で解散終了しました。

武井 正雄